

# アル・アクサ洪水第498日目：6回目の囚人交換が完了 | ネタニヤフ首相は反発に直面している

Palestine Chronicle, 2025年2月15日、脇浜義明訳 \*脚注は訳注



数百人のパレスチナ人囚人と引き換えに、3人のイスラエル人拘留者が釈放された。(Photo: via QNN)

## 主要事項

\* 15日朝3人のイスラエル人質がハーン・ユーニスで解放された。一方、数百人のパレスチナ人囚人の釈放の準備が進行している。

\* 3人の人質は、解放されたとき、停戦協議を促進して人質全員の解放を実現せよと叫んだ。

## 最新情報

2月16日 4:27am (パレスチナ時間)

\* アル・ジャジーラ：イスラエル刑務所から釈放されたアブラヒム・サラヘナー（57歳）は、23年前に見た現実とはまったく異なる、自分がいない間に新しい世代が育ったまったく未知の現実へ戻った感じがすると言った。彼は刑務所の酷い処遇、特に2023年10月7日以後の厳しい処遇について語った。10月7日以降、外のガザ・ジェノサイドの間の扱いは、それまでの22年間とまったく異なって厳しくなった、と語った。彼は2002年に逮捕され、6回の無期刑と他に45年の刑を宣告された。彼は369人と一っしょに6番目の釈放団で釈放された。

2月16日 4:25am

\* パレスチナ・メディア：パレスチナ囚人クラブは、釈放囚人に脅迫的フレーズを記したシャツを着用させるのは「イスラエルのテロ行為」の枠内に入ると、非難した<sup>1</sup>。さらに、パレスチナ囚人クラブは「占領軍は、釈放囚人とその家族に対する拷問、辱め、虐待などあらゆる手段のテロ行為を講じている」と述べた。

<sup>1</sup> ダビデの星と「我々は忘れず、許さない」という文言を印刷したシャツを着せた。

\*アラブ・メディア：15日の夕方、チュニジアの米大使館前で、数十人のチュニジア人がパレスチナ人をガザから強制移動させるトランプの計画に抗議して、デモを行った。

**2月16日 1:24 am**

\*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍は、西岸地区のベツレヘムの南東でハルマラ村とトゥークの町に軍検問所を設置した。

\*アル・ジャジーラ：15日夜、数千人のイスラエル人が、捕虜交換の継続とパレスチナ・レジスタンスとの合意第二段階の実施を求めて、テルアビブとエルサレムで抗議デモを行った。

\*アル・ジャジーラ：捕虜交換とハマスの停戦の第二段階の交渉を始めよという国際社会の圧力が高まる中、マルコ・ルビオ米 국무長官が15日夕にテルアビブに着いた。

\*レバノン国営通信社：15日夜、イスラエル占領軍の南レバノンのナバティエ行政区への空爆で、2人が死亡、5人が負傷した。イスラエルの停戦協定違反が続いている。

イエディオト・アハロト：イスラエル軍は、レバノン国軍が国境地帯に展開すれば、数日間でレバノンから撤退すると言っている。

**2月15日 10:36 pm**

\*メディア報道：米のマルコ・ルビオ 국무長官が今日テルアビブに到着した。これは 국무長官就任後初めての中東訪問である。

\*アル・マヤディーン：レバノンの町ジルジュアでイスラエル軍が走行中の自動車を空爆、2人が死亡し、3人が負傷した。

\*アル・マヤディーン：南レバノンの町クファル・キラでイスラエル軍は大爆破攻撃を行った。

\*パレスチナ・メディア：西岸地区ジェニンの南の町アラバへイスラエル軍が入ろうとしているとき、レジスタンス戦士が爆弾攻撃した。

**2月15日 10:21 pm**

\*パレスチナ・クロニクル：トルコの元首相アフメト・ダウトオールは、パレスチナ国家が樹立されるまでの間ガザが自治区としてトルコの一部になるかを、ガザ民衆が住民投票してはどうかという提案をした。それに関してパレスチナ・クロニクルのラムジー・バルードがダウトオールを独占インタビューした<sup>2</sup>。

**2月15日 8:40 pm**

\*チャンネル12：情報筋によれば、イスラエルは解放人質の人数の追加を求める要求をして第一段階の実施を延長しようとしている。我々チャンネル12は前に、ネタニヤフはトランプが残る6人の人質解放の期限を設定したのを利用しようとしていると報道した。

\*アル・カッサム旅団：ハマスは停戦合意の第一段階の一環として第6次人質解放の様子の映像を流した。

\*イタマール・ベン・グヴィル：ベン・グヴィルはせっかくの機会を無駄にするな、人質全員が帰ってきたわけではないのだから、トランプの言う通りに、戦争へ戻ってハマスをせん滅せよと、ネタニヤフに言った。

\*ロシア政府：我々はパレスチナ陣営および仲介国カタールとエジプトに、わが国民の解放に関して、感謝する<sup>3</sup>。

**2月15日 6:06 pm**

\*フォックス・ニュース（イスラエル国連大使の言葉）：ハマスは依然としてガザを支配している。イスラエルはこの戦争が終わるまでにそれを消滅させる決意だ。今日の閣議でガザに関してあらゆる選択肢を協議しなければならない。軍はその選択肢を実行する能力があり、その用意をしている。

\*アブ・ハムザ（パレスチナ人イスラム聖戦報道官）：レジスタンスのイスラエル人人質の処遇の適正が証明されたが、敵のパレスチナ人囚人の拷問など残酷な扱いも明るみに出た。釈放囚人に威嚇的文言の入ったシャツを着せたり、彼らに劣悪な処遇をしたことは、敵の残忍性と非人間性を表している。米国は人質の全員解放を要求して

---

<sup>2</sup> Palestine Chronicle TV, "[Today I am Palestinian, tomorrow I am Palestinian: interview with Ahmed Davutoglu](#)" という動画が YouTube で見られる。

<sup>3</sup> 釈放された3人のうちにロシアとイスラエルの二重国籍者アレクサンダー・トルパノフがいる。

いるが、それなら同じことをイスラエルにも要求すべきだ。米国はイスラエルのパレスチナ囚人への拷問、虐待、殺害を無視すべきではない。彼らはイスラエルが盗んだパレスチナの地の正当な所有者だ。

\*ヒズボラ政治評議会副議長：我々は郷土が米国とイスラエルの手に渡ることを許さない。イラン機のベイルート着陸拒否は国家と国家の安全保障への侮辱行為である<sup>4</sup>。政府が外国の圧力に屈しても、我々レジスタンスは屈せずに、外国の命令と戦う。

\*英国外務大臣：私は、協力し合ってガザ停戦合意を完全実施するように、関係者全員に呼び掛ける。私は、「人質」の全員解放、救援物資のガザ搬入、継続的和平の実現への努力を呼びかける。

\*チャンネル12：人質家族会は、まだ捕らえられている者たちの即時解放を要求するために、テルアビブ集会を呼びかけている。

\*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は、トランプ大統領の人質解放の期限満了に合わせて、今日安全保障関係の指導者と会合を持つ。WALA はトランプが設定した期限の満了に伴ってイスラエルが採る姿勢について協議するという政府高官の発言を伝えた。

\*UNRWA 事務局長：西岸地区では40,000人を超えるパレスチナ人が家を追われた。UNRWA の財務状況は非常に厳しく、お先真っ暗である。他の国連機関ではUNRWA が行ってきたサービス提供ができない。

\*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍は西岸地区ナブルス東の町ルジェイブを攻撃した。

## 2月15日 3:44 pm

\*アル・ジャジーラ：6番目の捕虜交換の一環として釈放されたパレスチナ囚人がガザに到着した。

\*イスラム聖戦：釈放者に対する人種差別的で非人間的な処遇はイスラエル占領者の本当の顔を表し、彼らの敗北感の反映だ。

\*ハアレッツ：パレスチナ囚人に「我々は忘れないし、我々は許さない」と記したシャツを着せた決定は刑務所局長が行ったもの。

\*チャンネル12：パレスチナ囚人に脅迫的文言とダビデの星を記したユニフォームを着せたことは我々の心の破綻と弱さの表れである。

\*釈放されたパレスチナ囚人：釈放された人々は、ガザ戦争中イスラエル看守が自分たちを拷問、虐待、食事制限などで苦しめたと、アル・ジャジーラに話した。

\*アル・ジャジーラ：9人の終身刑囚人がラマッラーに着き、3人の終身刑囚人がエルサレムに着いた。

\*アル・ジャジーラ：釈放されたパレスチナ囚人を運ぶバスがラマッラーに着いた。

\*ウォールストリート・ジャーナル：トランプ政権の高官は米国がレバノンで停戦を実施するように働いていると述べた。

## 2月15日 11:10 am

\*アル・ジャジーラ：オフエル刑務所でパレスチナ囚人の釈放の準備が始まった。

\*ハマス：敵囚人を渡すときのエルサレム、アル・アクサ、群衆の映像の存在は、占領者と占領者を支持する者たちへ、これがレッドラインだと告げる新しいメッセージだ。6番目の敵囚人の解放は、交渉と交渉による同意を守ることによってのみ実現できたことを、敵に教えたはずだ。

\*イスラエル・メディア：赤十字社が3人の人質をハマスから受け取り、3人がイスラエル軍の方に歩いて向かっていることが確認できた。

\*解放された人質アレクサンダー・トルパノフ：我々は残っている人質のことを忘れてはいけない。

\*解放された人質ヤイル・ホルン：人質全員が家に帰れるようにすべきだ。あまり時間がない。

\*アル・ジャジーラ：ハーン・ユニスで赤十字社に3人の人質を渡すプロセスが始まった。

\*アル・ジャジーラ：赤十字社の一団が3人の人質の身柄を受け取りにハーン・ユニスに到着した。

---

<sup>4</sup> イスラエルがヒズボラとイランのコッズ部隊が民間航空を使って資金を密輸したと非難したことを受けて、レバノン政府が2月13日にイラン機のベイルート空港への着陸を拒否した。ヒズボラとその支持者たちは不当な外部からの圧力に屈して国家主権の侵害を許したとして、政府に抗議、大衆座り込みをやっている。

<sup>5</sup> 15日12時、正午なのか真夜中なのかは不明。

\*チャンネル13：人質を引き渡すときにいたハマスの戦士たちが持っていた武器は2023年10月7日にイスラエル兵から奪った武器であった。

\*ハマス：今日捕虜交換が再開するのは、我々が仲介国との約束を守り、仲介国からイスラエル側が同意を順守するという保証を得たからである。我々はイスラエル側が仲介国の約束と保証どおりに人道議定を実施するのを待った。イスラエル側は人質解放を得るためには停戦合意を全面的に順守する以外には道がないことを認識したのであろう。

\*アル・カッサム旅団：3人の人質は2023年10月7日で敵から奪った軍用車に乗せてハーン・ユニスへ運ぶ。我々は人質のサギ・デケルに、彼の娘へのプレゼントとして金貨を贈った。彼の娘は我々が彼を捕らえた4か月後に誕生した。

\*イスラエル軍：我々はガザ国境近くのレイム付近の地点で解放される人質を一時間後に受け取る用意をしている。

\*カン：イスラエル人の55%がどんなことをしてでも人質全員を取り戻すことに賛成している。戦争再開がハマス殲滅になると思っているイスラエル人は36%である。

\*パレスチナ・メディア：地元人のSNSがイスラエル占領軍が今日早朝にジェニンの西の町ヤームーンを攻撃している映像を流した。